

第86号【2014/11/1 発行】

発行元：昭和大学横浜市北部病院

●巻頭言

『知っておきたい感染症の常識、非常識
～予防は一人ひとりの自覚から～』

感染管理室長 木村 聡

- 医師の配属・異動・退職
- 診療統計
- 医療連携室からのお知らせ
- 患者さんへのお知らせ
- コメディカル紹介 《健康増進室》
- TOPICS



巻頭言

『知っておきたい感染症の常識、非常識 ～予防は一人ひとりの自覚から～』



臨床病理診断科 教授
感染管理室長 木村 聡

「3秒ルール」って、ご存知ですか？ 床に落としてしまった食べ物を、3秒以内に拾って食べればお腹を壊さない、というおまじないです。私も自宅ではやってしまう事がありますが、病院では拾うことはあっても決して口には入れません。なぜって、病院にはいろんな病原体が持ち込まれるリスクがあるからです。

1. 症状がまったく無い人でも、感染源になることがある

ウイルス、細菌、寄生虫など、病原体（以下「菌」と呼びます）は人間の体に入ると必ず症状をあらわす、とお考えではありませんか？ いえいえ。菌が悪さをするかは、菌の強さ、入ってきた数と人間側の抵抗力で決まります。元気に働いている方と、病気や怪我で弱った方では同じ病原体でも与えるダメージに差があるのです。図1をご覧ください。

この三角形は、高さが重症度、幅が患者さん数を示しています。頂上の部分は重い症状の患者さん、真ん中は軽症、一番下は、病原体を持っているのに抵抗力があるため発症しない集団です。このように、世の中には同じ病原体に接していても、重症になってしまう患者さんと、平気でいられる方が混在しています。そして困ったことに、菌によっては自覚症状がないにも関わらず、体に病原体を持ち、手を触れたり咳をすることで、知らないうちに菌を拡げてしまう方がおられます。こうなると、高齢の入院患者さんや、免疫抑制剤を使っている患者さんには脅威です。

2. 軽い症状であっても、弱った患者さんにはダメージとなる病原体がある

図2をご覧ください。病原体に曝露され感染した人が、症状を呈してから治るまでを左から右に四角形で現した図です。「潜伏期」と言って、菌が体の中で増え続けているにも関わらず症状が現れない期間がインフルエンザやノロウイルス等ではとくに顕著です。治ったあとも、しばらくは少量の排菌が続き、本人はケロッとしていても人に感染させる力を持っていることがあります。これらの病原体の多くは、直接手を触れたり、咳を浴びたりすることで感染します。伝播を防ぐには、手洗いやマスクが大変有効です。

以上まとめると、次のようになります。ご自分に症状がなくても、病原体によっては無意識のうちに持ち歩き、周囲の人を感染させてしまうことがあります。医療機関を訪れる際は手をよく洗い、風邪の流行期はマスクを着け伝播を予防しましょう。また病院には免疫の力が低下した患者さんがおられ、万一感染すると重症になることがあります。咳や熱があったり下痢をしているときは、残念ですがご面会は控えましょう。どうしてもという事情のある方はあらかじめ病棟スタッフにご相談ください。もし入院中に咳や熱が出てきたら、ご遠慮なさらずスタッフにお知らせください。外泊されるときは感染症状のある方との接触を避けましょう。私たち病院スタッフは感染が拡がらないよう、マスクや手洗い、エプロンや手袋で細心の注意を払っておりますが、出入りされる患者さん、お見舞いの方々にも、病原体を持ち込んでしまわないよう、ご協力をお願い申し上げます。院内感染の根絶には、皆さんのご協力が欠かせないからです。

図1：同じ病原体の感染でも、重症、軽症、無症状の集団が存在する

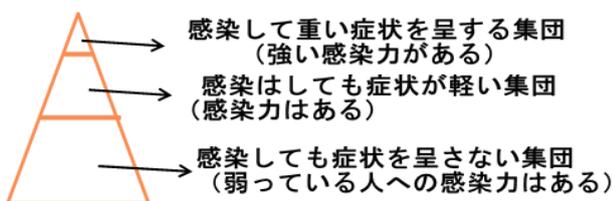
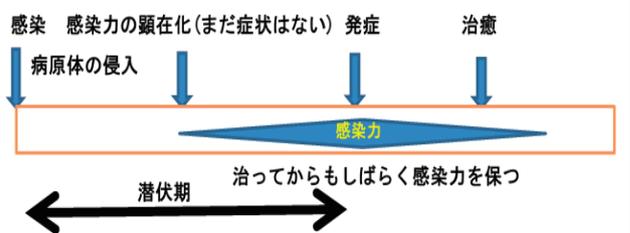


図2：感染から治癒までの感染力の推移



医師の配属・異動・退職

新規配属医師

10月～11月

【附属病院より】



尾頭 希代子
(麻酔科)
昭和大学病院
麻酔科より



小林 茉莉奈
(歯科・歯科口腔外科)
昭和大学
スペシャルニース[®]口腔医学講座より

【配置転換】

- ・島田 翔士 (消化器センター ⇒ 救急センター)
- ・竹島 亜希子 (救急センター ⇒ 内科)
- ・薬師寺 忠幸 (心臓血管カテテル室 ⇒ 救急センター)
- ・前田 康晴 (救急センター ⇒ 消化器センター)
- ・武重 由依 (内科 ⇒ 救急センター)
- ・雨宮 妃 (救急センター ⇒ 心臓血管カテテル室)

【学外研修等戻り】

- ・菘原 洋輔 (呼吸器センター)
- ・後藤 聡子 (麻酔科)
- ・松平 真悟 (消化器センター)
- ・及川 裕将 (消化器センター)

異動 退職医師

10月～11月

【学外研修・海外留学】

- ・酒井 健 (救急センター)
- ・漆原 史彦 (消化器センター)
- ・釋尾 有樹子 (消化器センター)
- ・馬上 達也 (整形外科)
- ・島津 玲奈 (麻酔科)
- ・小川 悠史 (消化器センター)
- ・鈴木 謙一 (消化器センター)
- ・真田 建史 (メンタルケアセンター)
- ・林 靖子 (消化器センター)
- ・神山 勇太 (消化器センター)
- ・趙 智成 (消化器センター)
- ・久保田 豊 (整形外科)

【附属病院へ】

- ・小寺 志保 (麻酔科 ⇒ 大学病院 麻酔科)
- ・小林 功治 (内科 ⇒ 江東豊洲病院 内科)
- ・宮久保 あや子 (歯科・歯科口腔外科 ⇒ 昭和大学 スペシャルニース[®]口腔医学講座)
- ・奈良林 至 (緩和医療科 ⇒ 大学病院 緩和医療科)
- ・神保 光一 (メンタルケアセンター ⇒ 烏山病院 精神神経科)

【退職】

- ・鈴木 淳一 (こどもセンター)
- ・片岡 伸一 (消化器センター)
- ・村島 一平 (整形外科)
- ・伊津野 拓司 (メンタルケアセンター)
- ・前田 智子 (女性骨盤底再建センター)

診療統計

2014年8月～9月統計データ()内は1日平均

診療実日数 8月(入院:31日・外来:26日)、9月(入院:30日・外来:24日)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
8月	28,413人(1,092.8人)	17,236人(556.0人)	355件(11.8件)	705件(33.6件)
9月	28,500人(1,187.5人)	16,539人(551.3人)	308件(10.3件)	659件(33.0件)

地域医療連携室からのお知らせ

昭和大学横浜市北部病院は**地域の中核病院として**

高度な医療を提供していただくために地域の医療機関と役割分担を行っています。

そのため、患者さんに最適な医療を提供していくために「**かかりつけ医(ファミリードクター)**」を推奨しています。

また、病気の症状が安定した患者さんは服薬管理や生活指導をファミリードクターにお願いするため、再び紹介させて頂いております。

港北区・緑区・青葉区の先生方のプロフィールを順次ご紹介していきます。地域の医療機関の先生方の住所・診療時間・科目やドクターの人となり、得意分野などにもスポットをあてて紹介しています。“かかりつけ医”の情報源としてお役に立てれば幸いです。

(過去掲載分(都筑区の先生方)につきましては北部病院HPをご参照下さい。

<http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/guide/pr/press/>



※ご提出頂いた順で掲載しております。

内科／小児科

東急田園都市線市ヶ尾駅、青葉台駅、藤が丘駅より車7分

ふるた内科小児科クリニック

青葉区鉄町57-1

Tel : 045-979-1301

<http://www.furuta-clinic.com>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	-	●	●	●	●	●	-
15:30～19:00	●	-	●	-	●	-	-	-

※月、水、金の14:30～15:30は乳児健診・ワクチン接種



院長 古田 薫 先生

患者様が安心できる診療をモットーとして考え、健康面でのQOL向上、また皆様の家庭医臨床医としてお役に立ちたいと考えております。

当院では、インフォームド・コンセント(説明と同意)を大切にし、必要に応じセカンドオピニオンを取り入れます。スタッフ一同、笑顔で対応させていただきますので、小さな疑問や些細なことなど、何でもお気軽にご相談ください。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー: 笑う門には福来たる
- 趣味/特技: ガーデニング

眼科

東急田園都市線市ヶ尾駅より徒歩2分

市ヶ尾眼科

青葉区市ヶ尾町1054-4秦野ビル2階

Tel : 045-973-2785

<http://www.ichigaoganka.com>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	●	-	●	-	-
15:00～17:00	●	●	●	●	-	●	-	-



院長 長谷部 啓子 先生

1982年に市が尾に開院以来、眼科のかかりつけ医として、親切で丁寧な診療とわかりやすい説明を心がけております。

白内障・緑内障・黄斑変性・糖尿病や高血圧など全身疾患に伴う眼疾患・外眼部疾患など眼科全般、および眼鏡・コンタクトレンズなど診させていただきます。重症例・手術が必要な方には、昭和大学北部病院をはじめとする病院との連携体制に力を入れております。眼について少しでも気になる事がありましたら、お気軽にご相談下さい。

～院長先生に一問一答～

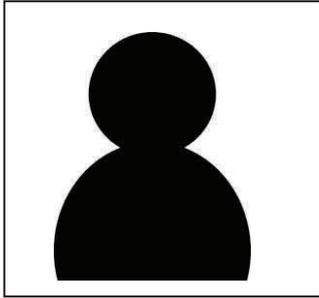
- 座右の銘又はモットー: 誠心誠意
- 趣味/特技: 社交ダンス、ゴルフ、旅行

坂本内科胃腸科クリニック

緑区中山町306ミソズ・シードビル402
Tel: 045-935-7811

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	-	●	◎	-	-
15:00～19:00	●	●	●	-	●	-	-	-

◎土曜日の午前は9:00～14:00



院長 坂本 芳大 先生

“地域医療を主眼に診療を”モットーに内科全般に患者さんのニーズにこたえられる様に、特に胃・大腸内視鏡に力を入れて診療しています。

斉藤小児科(心とからだのクリニック)

港北区高田東1-25-3
Tel: 045-531-3574
<http://www.saito-cc.com>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	◎	●	●	●	-	-
14:00～17:30	●	●	◎	●	●	-	-	-

◎水曜日は9:30～16:00(小児精神外来:事前予約制)



院長 齋藤 富美子 先生

小児科医は、ことばで上手に表現できない子供達のからだの状態や心の訴えを、色々なサインから理解する専門家だと私は考えています。お子さんのからだや心のことをよりの確に理解するためには、医療スタッフと保護者とがより良いコミュニケーションを保つことが大切です。何でも相談しやすい、話しやすい、何かほっとすると言っていたるように、スタッフ一同頑張って日常診療に励んでいます。どうぞ宜しくお願いします。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー:ほっとしてもらえる診療
- 趣味/特技:愛犬とたわむれる事

うしく整形外科クリニック

青葉区美しが丘1-13-1
Tel: 045-904-6937
<http://www.ushiku-clinic.com/>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●	-	-
15:00～18:30	●	●	●	-	●	◎	-	-

◎土曜日の午後は14:00～17:00



院長 牛久 尚彦 先生

スポーツによる外傷や障害、生活習慣性腰痛や関節痛、骨粗鬆症に対して、理学療法士による運動療法を中心とした治療により、地域の皆様のより豊かな日常生活の獲得を目指します。“わかりやすく、暖かい医療”をスタッフ一同心掛けておりますので、お気軽にご相談、ご来院ください。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー:わかりやすく暖かい医療

朝比奈耳鼻咽喉科医院

青葉区青葉台1-13-5

Tel: 045-981-3322

<http://www.asahinajibika.com/>

院長 朝比奈 紀彦 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:30	●	●	●	-	●	◎	-	-
15:00~18:30	●	●	●	-	●	-	-	-

◎土曜日の午前は9:00~13:00

当院は先代院長が1967年に開院し、緑豊かな街「青葉台」の歴史とともに歩んできたクリニックです。2003年に現院長である私が継承し、現在に至っております。常に笑顔で接し、地元の方々から親しまれ、何でも相談していただけるクリニックを目指しています。各種聴覚検査機器や内視鏡ビデオシステムなど設備も充実しており、最新の医療を提供できるよう努力しております。

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー:親切、丁寧な診療を心がけています

よしだ健康ケアクリニック

緑区長津田2-5-14

Tel: 045-988-0775



院長 吉田 保男 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	-	-
15:00~19:00	●	△	●	-	●	◎	-	-

◎土曜日の午後は14:00~16:00

△火曜日の午後は往診14:00~17:00

健康に関することを、何でも気軽に相談できるように気を配っています。訪問診療、臨時往診なども対応します。長津田地域の健康パートナーとしてお気軽にご利用頂きたいと思っております。

～院長先生に一問一答～

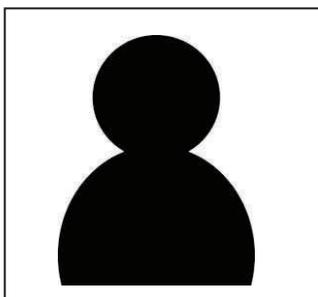
■座右の銘又はモットー:地域住民の健康をケアするかかりつけ医であること

■趣味/特技:テニス

浅木クリニック

港北区菊名1-4-2

Tel: 045-401-8222



院長 浅木 信一郎 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	-	●	◎	-	-
15:00~19:00	●	●	●	-	●	-	-	-

◎土曜日の午前は9:00~13:00

最近ようやく総合診療科という分野が周知されてきました。患者さんを総合的にいろんな科の視点から診て、必要なら専門病院に送るといった診療を心がけています。

～院長先生に一問一答～

■趣味/特技:テニス、ゴルフ

患者さん・医療機関へのお知らせ

放射線治療機器（リニアック）を更新しました

平成 26 年 10 月より、当院の放射線治療機器（リニアック）を最新の機器に更新しました。今回新しくなったポイントは、

■非常に高い精度の放射線治療

＝健康な細胞を守りながら、がん細胞だけに集中的に放射線を照射することができるので、副作用を抑えることができます。

■スピーディな治療

＝高い線量率で短時間の治療が可能のため、治療中の患者さんの負担が軽減されます。



【最新の放射線治療器、隣接した CT 機器でがんの部位を撮影し照射する部位を決めます】

今回の放射線治療機器の更新によって、先進の高度放射線治療が可能となりました。しかし、患者さんにとって「放射線治療」はあまり馴染みがない治療法だと思います。そのため、今回は高度精密放射線治療の専門家である馳澤憲二先生に色々聞いてみたいと思います。

教えて
〇〇先生！

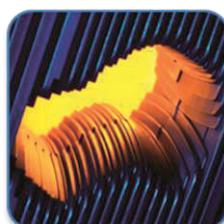


Q1、今回の放射線治療機器はどこが新しくなったの？

■強度変調放射線治療(IMRT)が進化しました。

幅が 2.5mm のマルチリーフコリメーターと呼ばれる金属の板を、コンピューターにより制御して、患者さんの**腫瘍の形に合わせて**（右記写真）**移動させながら**放射線を照射します。

回転しながら行いますので、健康な組織への被ばくをさらに低減し、治療時間も大幅に短縮されます。



【馳澤 憲二先生】

放射線医学講座 放射線治療部門教授
高度精密放射線治療の専門家

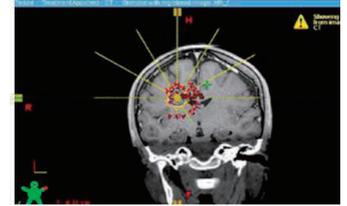
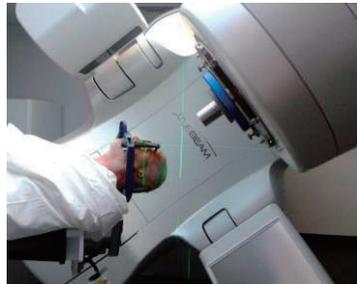
■強度変調回転照射(VMAT)が可能に。

治療直前に CT 画像を撮影し、位置合わせを行い、安全で正確な治療が可能です。従来の IMRT を回転させながら行うことで、短時間でのがん治療が可能です。



■その他

その他にも「定位放射線治療(STI)」も実施し、細かい放射線を**多方向から正確に集中して照射**し、周囲の正常な組織に当たる線量を極力減少させることができます。脳や肺などのがんにも有効です。



Q2、「〇〇がん」と診断されたのですが、放射線治療の対象になるのでしょうか？

放射線治療は、早期がんの方から、進行がん、再発・転移された方まで完全な治癒、あるいは治癒に準じた治療が期待できます。また、がんの治療は、外科療法(手術)、化学療法、放射線療法の3つが「三大治療法」と言われています。この中で放射線治療の大きな利点は、臓器を摘出せずに、形態と機能を保つことができる点です。現在のがん治療では、これらの三大治療法の優れた部分をバランスよく組み合わせて治療する「集学(しゅうがく)的治療」が行われることが多くなっています。まずは、主治医に相談してみましょう。また、昭和大学横浜市北部病院では「地域がん診療連携拠点病院」として多くのがん患者さんの治療にあたっています。

Q3、放射線治療をこれから受けるのですが、非常に不安です。

放射線治療は「放射線治療医」、「診療放射線技師」、「放射線治療看護師」がチームとなり患者さんの治療をサポートをしていますので、ご安心ください。

“放射線治療機器”のスペシャリスト

「診療放射線技師」は、放射線治療機器を安全に結ぶコーディネーター的役割を担っており、病巣に予定通り放射線が照射されているのか、放射線は意図している量が出ているのか、照射する装置は適正に動いているのか等、患者さんが安心して放射線治療を受けられるよう確実な位置決めと適切な放射線量を照射できるように、サポートさせていただいております。



診療放射線技師：渡邊 裕之

“放射線治療における看護”のスペシャリスト

「放射線治療看護師」は医師の診察時に同席し、照射部位や線量、治療方針に基づき、個々の患者さんに合わせて有害事象や日常生活の留意事項を説明しています。また、患者さんができるだけ安心して治療を進めるよう不安の軽減に努め、計画された治療が予定通り完遂できるよう支援しています。



看護師：長橋ひとみ

また、当院で実施している放射線治療は保険診療になりますので、医療費負担が軽減される「限度額適用認定証」が利用できます。「限度額適用認定証」の利用については、ご加入の健康保険窓口へお申込みください。

コメディカルリレー紹介 vol.4 《健康増進室(人間ドック)》

このページでは、病院内の様々な特色を持った部署・職種を順番に紹介していきます。

■人間ドックとは

人間ドックは、各種疾患の早期発見・早期治療のため（二次予防）、またそれら疾患を発症させない体作りのため（一次予防）に、大変重要な役割を果たします。



■当院ドックの内容の紹介

【基本検査項目一覧】

- ・ 問診・診察 看護師問診、医師による診察・結果説明
- ・ 身体測定 身長、体重、腹囲、BMI、肥満度、体脂肪、血圧、視力検査
- ・ 血液検査 血球検査、肝機能検査、腎機能検査、血清反応検査、肝炎検査、糖尿病検査、脂質検査、腫瘍マーカー
- ・ 尿検査 蛋白、糖、潜血、ウロビリノーゲン、比重、沈査
- ・ 便検査 便潜血（大腸がんドック実施時は行わない）
- ・ 生理機能検査 心電図検査、聴力検査、呼吸機能検査
- ・ 眼科学的検査 眼底検査、眼圧検査
- ・ レントゲン検査 胸部単純撮影
上部消化管造影検査（バリウム検査）
- ・ 超音波検査 肝臓・胆のう・腎臓・脾臓・膵臓

オプション検査では、さまざまな対象器官に対して高度専門機器・専門スタッフによる、より細やかな検査を行います。

■当院のドックの特色

当院ドックの最大の特色としては、各検査結果に応じ当院各専門診療科・専門スタッフにおける万全な受入態勢を整えていることが挙げられます。検査結果は電子カルテシステムによって半永久的に保存されており、ドックの検査結果を全診療科で共有しておりますので、同じ検査を重複することなく速やかに診療に移行できます。

また検査当日を快適にお過ごしいただけるよう専用診察室、専用待合ラウンジ、リラクゼーションルームを設けております。昼食には近隣割烹料理店より運ばれる栄養バランスを考えたお食事に旬なデザートを添え、ご利用の皆様にご好評をいただいております。

当院人間ドックが、皆様の健康対策の一助となるよう、ご利用・ご活用いただきますことを心よりお待ちしております。



前回の総合相談センター通信では、地域医療連携室より『医療の役割分担』について取り挙げ、患者さんの症状にあわせて、医療機関の機能に応じて対応していることをご案内いたしました。今回はその具体的な例として、急性期病院から回復期リハビリテーション病院(リハビリ専門の病院)への連携について医療福祉相談室(ソーシャルワーカー)よりお知らせしたいと思います。

当院では、脳梗塞、骨折等受傷直後の治療で入院される方が多くおり、手術や専門的な高度な医療を行います。しかし、急性期病院である当院での急性期医療が終了すると、リハビリをするためだけに入院継続をすることができません。その様な時に、リハビリ専門病院へ移っていただいて、さらにリハビリを継続するお手伝いを、主治医やリハビリ科医師等と相談をしながら、私たちソーシャルワーカーがサポートさせていただきます。

回復期リハビリテーション病院とは？

- 急性期病院での治療後、集中的にリハビリをおこない、「自宅退院」を目標とします。
- 「入院対象となる疾患(病気やけが)」が決まっており、「入院できる基準」、「入院できる期間」が限られます。(以下参照) ※全ての方がご入院できるわけではありません。

①脳血管疾患、脊髄損傷等の発症または手術から2ヶ月以内の方	150日以内
②大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節の骨折で発症または手術後2ヶ月以内の方	90日以内
③外科手術または肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有している方で発症または手術後2ヶ月以内の方	90日以内
④大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経・筋・靭帯損傷後1ヶ月以内の方	60日以内
⑤股関節または膝関節の人工関節置換術後1ヶ月以内の方	90日以内

よくあるご相談



相談: 入院して直ぐにリハビリ専門病院へ申し込みをするように、主治医に言われました。家に帰れるまで、北部病院に入院をしたいんですが……

アドバイス: 早期にリハビリ専門病院で、集中してできるほうが、患者さんにとってもよい環境になると思います。また、リハビリ専門病院が混んでいて、申し込んでもすぐに移れないこともあります。主治医からの勧めがあれば、早めに相談をしていきましょう。



相談: 患者本人に「認知症」があるんですが、本人がリハビリをやりたいがらない。リハビリ専門病院にいけば、リハビリできますか？……

アドバイス: リハビリ専門病院より、施設でのリハビリが望ましいことがありますので、主治医に相談をしましょう。 ※あくまで原則となるものですので、実際に患者さんがリハビリ専門病院の申し込みをしたほうがよいのか、また申し込みができるようなご状態なのかについては、主治医にご相談下さい。



ソーシャルワーカーは、「入院中の方の退院支援」や「公的制度のご案内」など、様々な相談に対応しています。病状や治療によって相談の内容も異なりますので、まずは主治医や看護師に相談をしていただき、ご不明な点がありましたら総合相談センターにお立ち寄りください。【場所】中央棟1階 【対応時間】9時～16時(土日・祝日を除く)

TOPICS

リレー・フォー・ライフ横浜都筑に参加しました

がん征圧チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014横浜都筑」が、9月20日（土）13時～21日（日）13時、センター北駅前広場公園において、24時間にわたって開催されました。

リレー・フォー・ライフは、アメリカ人外科医が「がん患者は24時間闘っている」をメッセージに、トラックを24時間走り続け寄付を募ったことが始まりで、共に歩き語らう事で、生きる勇気と希望を生み出そうというイベントです。

世界21か国、全米5500か所、日本では、40か所以上で開催されています。

この度、私は、「都筑でやりたかった・・・」という一人のサバイバー（がん患者）の想いを受け止め、都筑区での開催を決め、実行委員長を務めさせていただきました。

北部病院としては、参加者が安心できるように、救急車を会場に設置し、24時間体制で救護班として参加していただきました。

また、有志看護師、外来受付クラーク、物品管理室や薬剤部スタッフ、外来ボランティアさんには、当日沢山のお手伝いをいただきました。

また、事前のPRとしまして北部病院では、8月にがん経験者である「ムーラン」さんによるロビーコンサートも行い、この世でもう一度生きるという「リライフ」、そして、「命のリレー」など、入院中の方々に、歌を届けました。

大きなご協力、ご支援をいただきましたこと、この場をお借りしまして、実行委員長として、深く感謝し、御礼申し上げます。

病は、「がん」だけではありません。しかし、日本では、2人に1人が、がん罹患する時代です。がんについて知り、早期発見のために検診を受けるよう啓発をし、今闘っている人に心を寄せ、勇気と希望へ繋がりますことを、心から願っています。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014横浜都筑 実行委員長
昭和大学横浜市北部病院 看護補助員 白戸美子



上段左から：8月のロビーコンサートの様子
当日の救護所
メッセージが書かれたルミナリエ

下段左から：北部病院のスタッフ
集合写真

編集後記



皆さんが本号を手取る頃は、都筑の丘たちは紅葉に染まっている頃でしょうか。秋も深まりましたが、秋にはイベントが盛りだくさん。プライベートではお子さんの運動会でビデオ撮影担当だったり、遠足のお弁当の献立に頭を悩ませたりした方々もいると思います。

当院では、9月には、本号の記事にある「リレーフォーライフジャパン2014横浜都筑」に救護班として参加したり、11月には、1日に院長が「都筑区制20周年記念式典」に出席、3日には「都筑区民まつり」への参加など、イベントへの関わりがあります。当院は「地域医療支援病院」ですが、医療のみならず、いろいろな面で地域と関わり合い、さらに地域に根差した愛される病院となっていきたいものです。

広報委員会 委員 大越 明

北部病院だより 第86号

平成26年11月1日発行

発行責任者 世良田 和幸（昭和大学横浜市北部病院長）

編集責任者 北見 明彦（広報委員会 委員長）

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』

がご覧いただけます。